

様式 1

事 業 報 告 書
(自 令和3年9月1日 至 令和4年8月31日)

1 医療法人の概要

(1) 名 称 医療法人 高田歯科医院

① ☐ 財団 ☒ 社団 (☐ 出資持分なし ☒ 出資持分あり)② ☐ 社会医療法人 ☐ 特別医療法人 ☐ 特定医療法人☐ 出資額限度法人 ☒ その他③ ☐ 基金制度採用 ☒ 基金制度不採用

注) ①から③のそれぞれの項目 (③は社団のみ。) について、該当する欄の□を塗りつぶすこと。(会計年度内に変更があった場合は変更後。)

(2) 事務所の所在地 岡山県笠岡市四番町3-18

(3) 設立認可年月日 平成10年 3月 6日

(4) 設立登記年月日 平成10年 3月26日

2 事業の概要

(1) 本来業務 (開設する病院、診療所又は介護老人保健施設 (医療法第42条の指定管理者として管理する病院等を含む。) の業務)

種 類	施設の名称	開 設 場 所	許可病床数
診療所	高田歯科医院	岡山県笠岡市四番町3-18	

注) 1. 地方自治法第244条の2第3項に規定する指定管理者として管理する施設については、その旨を施設の名称の下に【 】書で記載すること。

2. 療養病床に介護保険適用病床がある場合は、医療保険適用病床と介護保険適用病床のそれぞれについて内訳を[]書で記載すること。

3. 介護老人保健施設の許可病床数の欄は、入所定員及び通所定員を記載すること。

(2) 附帯業務 (医療法人が行う医療法第42条各号に掲げる業務)

(3) 当該会計年度内に社員総会又は評議員会で議決又は同意した事項

令和3年10月18日 令和2年度決算の決定

令和4年3月31日 解散の決議

令和4年8月31日 令和4年度収支予算の決定

令和4年8月31日 理事及び監事任期満了による改選の決議

(4) 当該会計年度内に開設 (許可を含む) した主要な施設

様式 2

法人名 医療法人 高田歯科医院

※医療法人整理番号 20674

所在地 岡山県笠岡市四番町 3 - 1 8

財 産 目 録

(令和 4 年 8 月 3 1 日現在)

1. 資 産 額	24,382 千円
2. 負 債 額	45,518 千円
3. 純 資 産 額	△ 21,136 千円

(内 訳)

(単位 : 千円)

区 分	金 額
A 流 動 資 産	219
B 固 定 資 産	24,163
C 資 産 合 計 (A + B)	24,382
D 負 債 合 計	45,518
E 純 資 産 (C - D)	△ 21,136

(注) 財産目録の価額は、貸借対照表の価額と一致すること。

土地及び建物について、該当する欄の□を塗りつぶすこと。

土 地 (□ 法人所有 ■ 賃借 □ 部分的に法人所有(部分的に賃借))

建 物 (□ 法人所有 ■ 賃借 □ 部分的に法人所有(部分的に賃借))

様式 3-2

法人名 医療法人 高田歯科医院
所在地 岡山県笠岡市四番町 3-18

※医療法人整理番号 20074

貸 借 対 照 表
(令和 4 年 8 月 3 1 日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
I 流 動 資 産	219	I 流 動 負 債	86
現金 及 び 預 金	105	未 払 金	13
た な 卸 資 産	114	未 払 法 人 税 等	71
		預 り 金	2
II 固 定 資 産	24,163		
1 有 形 固 定 資 産	23,407		
建 物 造 作	21,373		
建 物 付 属 設 備	1,747		
そ の 他 の 器 械 備 品	184		
そ の 他 の 有 形 固 定 資 産	103	II 固 定 負 債	45,432
		長 期 借 入 金	45,432
2 無 形 固 定 資 産	36		
電 話 加 入 権	36	負 債 合 計	45,518
3 そ の 他 の 資 産	720	純 資 産 の 部	
敷 金	720	科 目	金 額
		I 出 資 金	10,000
		II 積 立 金	△ 31,136
		繰越利益積立金	△ 31,136
		純 資 産 合 計	△ 21,136
資 産 合 計	24,382	負債・純資産合計	24,382

(注) 表中の科目について、不要な科目は削除しても差し支えないこと。また、別に表示することが適当であると認められるものについては、当該資産、負債及び純資産を示す名称を付した科目をもって、別に掲記することを妨げないこと。

様式 4 - 1

法人名 医療法人 高田歯科医院
所在地 岡山県笠岡市四番町 3 - 1 8

※医療法人整理番号 00674

損 益 計 算 書
(自 令和3年 9月 1日 至 令和4年 8月31日)

(単位：千円)

科 目	金 額	
I 事業損益		
A 本来業務事業損益		
1 事業収益		2,223
2 事業費用		6,315
本来業務事業損失		△ 4,092
事業損失		△ 4,092
II 事業外収益		
受取利息	0	
その他の事業外収益	79	79
III 事業外費用		
支払利息	0	
その他の事業外費用	0	0
経常損失		△ 4,013
IV 特別利益		
債務免除益	10,000	
その他の特別利益	0	10,000
V 特別損失		
固定資産売却損	0	
その他の特別損失	0	0
税引前当期利益		5,987
法人税・住民税及び事業税	71	
法人税等調整額	0	71
当期純利益		5,916

- (注) 1. 利益がマイナスとなる場合には、「利益」を「損失」と表示すること。
2. 表中の科目について、不要な科目は削除しても差し支えないこと。また、別に表示することが適当であると認められるものについては、当該事業損益、事業外収益、事業外費用、特別利益及び特別損失を示す名称を付した科目をもって、別に掲記することを妨げないこと。

関係事業者との取引の状況に関する報告書

(1) 法人である関係事業者

種類	名称	所在地	資産 総額 (千円)	事業内容	関係事業者 との関係	取引の内容	取引 金額 (千円)	科目	期末 残高 (千円)
該当なし									

(取引条件及び取引条件の決定方針等)

(2) 個人である関係事業者

種類	氏名	職業	関係事業者 との関係	取引の内容	取引 金額 (千円)	科目	期末 残高 (千円)
該当なし							

(取引条件及び取引条件の決定方針等)

- (注) 1 種類は法第51条第1項に定める関係事業者のうち該当する関係を記載する。近親者である場合には続柄を記載する。
2 該当する取引がない場合には、「種類」欄に該当なしと記載する。(様式の提出は必要)

※関係事業者とは、当該医療法人と2に掲げる取引を行う1に掲げる者をいいます。

1 以下の2に掲げる取引を行う者

- (1) 当該医療法人の役員又はその近親者（配偶者又は二親等内の親族）
(2) 当該医療法人の役員又はその近親者が代表者である法人
(3) 当該医療法人の役員又はその近親者が株主総会、社員総会、評議員会、取締役会、理事会の議決権の過半数を占めている法人
(4) 他の法人の役員が当該医療法人の社員総会、評議員会、理事会の議決権の過半数を占めている場合の他の法人
(5) (3) の法人の役員が他の法人（当該医療法人を除く。）の株主総会、社員総会、評議員会、取締役会、理事会の議決権の過半数を占めている場合の他の法人

2 当該医療法人と行う取引

- (1) 事業収益又は事業費用の額が、1千万円以上であり、かつ当該医療法人の当該会計年度における事業収益の総額（本来業務事業収益、附帯業務事業収益及び収益業務事業費用の総額）又は事業費用の総額（本来業務事業費用、附帯業務事業費用及び収益業務事業費用の総額）の10パーセント以上を占める取引
(2) 事業外収益又は事業外費用の額が、1千万円以上であり、かつ当該医療法人の当該会計年度における事業外収益又は事業外費用の総額の10パーセント以上を占める取引
(3) 特別利益又は特別損失の額が、1千万円以上である取引
(4) 資産又は負債の総額が、当該医療法人の当該会計年度の末日における総資産の1パーセント以上を占める取引
(5) 資金貸借、有形固定資産及び有価証券の売買その他の取引の総額が、1千万円以上であり、かつ当該医療法人の当該会計年度の末日における総資産の1パーセント以上を占める取引
(6) 事業の譲受又は譲渡の場合、資産又は負債の総額のいずれか大きい額が、1千万円以上であり、かつ当該医療法人の当該会計年度の末日における総資産の1パーセント以上を占める取引

様式 5

監 事 監 査 報 告 書

医療法人 高田歯科医院

理事長 高田 秀雄殿

私は、医療法人 高田歯科医院の令和3会計年度（令和3年9月1日から令和4年8月31日まで）の業務及び財産の状況等について監査を行いました。その結果につき、以下のとおり報告いたします。

監査の方法の概要

私は、理事会その他重要な会議に出席するほか、理事等からその職務の執行状況を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧し、本部及び主要な施設において業務及び財産の状況を調査し、事業報告を求めました。また、事業報告書並びに会計帳簿等の調査を行い、計算書類、すなわち財産目録、貸借対照表、損益計算書及び関係事業者との取引の内容に関する報告書の監査を実施しました。

記

監査結果

- (1) 事業報告書は、法令及び定款（寄附行為）に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、上記の計算書類の記載と合致しているものと認めます。
- (3) 計算書類は、法令及び定款（寄附行為）に従い、損益及び財産の状況を正しく示しているものと認めます。
- (4) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款（寄附行為）に違反する重大な事実は認められません。

令和4年10月20日

医療法人 高田歯科医院

監事 松本 美津子